



平成29年7月26日

全国棚田(千枚田)連絡協議会 会員 様

全国棚田(千枚田)連絡協議会
会長(新潟県佐渡市長)三浦 基裕
(公印省略)

「エコプロ2017」出展募集について(ご案内)

盛夏の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、常日頃より当協議会の運営や棚田保全活動にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今年度も、全国棚田(千枚田)連絡協議会として「エコプロ2017」に出展することとなりました。エコプロ展は、あらゆる分野が結集する日本を代表する環境展示会で、出展団体数約700、来場者数は17万人にも及びます。

この展示会において、各地域で行われている棚田の保全活動等を紹介し広く情報発信するとともに、棚田の役割や必要性を多くの方々にアピールする事は、棚田保全活動全体の推進に繋がるものと思います。

つきましては、「エコプロ2017」の企画書を送付いたしますので、出展をご検討いただき、希望される場合は別紙「出展申込書」をご提出くださいますようお願いいたします。

記

- 1 開催日時 平成29年12月7日(木)～9日(土)
10:00～17:00
- 2 開催場所 東京ビッグサイト【東ホール】
- 3 出展料 66,000円
※主催者へ支払う出展料が高くなったため、昨年度より1万円高くなっています。詳細は別添企画書9ページをご確認ください。
- 4 申込期限 平成29年8月10日(木)
- 5 その他 自治体正会員におかれましては、広く出展者を募るため、観光関係の部署にもお声かけいただけると幸いです。

全国棚田(千枚田)連絡協議会 事務局

(新潟県佐渡市 産業観光部農業政策課 担当:小松)

〒952-1292 新潟県佐渡市千種232番地

TEL:0259-63-5117(農業政策課直通) FAX:0259-63-5127

E-mail: u-satoyama@city.sado.niigata.jp

送信票不要

平成29年度 全国棚田(千枚田)連絡協議会 事務局 宛
新潟県佐渡市 産業観光部農業政策課 内 FAX 0259-63-5127

エコプロ2017 出展申込書

太枠内をご記入ください。

ふりがな			
出展団体名			
住所	〒	TEL:	
		FAX:	
		e-mail:	
ふりがな			
担当者名			
住所	(上と違う場合のみご記入ください)	TEL:	
		FAX:	
		e-mail:	
棚田のお酒 テイasting コーナーへの参加	する	しない	
物産販売	する	しない	
試飲・試食	する	しない	
その他	(質問等があればここにお書きください)		

「エコプロ 2017」

共同出展 企画書

全国棚田(千枚田)連絡協議会 事務局
(新潟県 佐渡市)

1 企画概要

(1) エコプロ 2017 の概要

名 称 エコプロ 2017 ～ 環境とエネルギーの未来展 [第 19 回]
会 期 2017 年 12 月 7 日(木)～9 日(土)の 3 日間 10:00～17:00 ※今回は 3 日とも 17 時までです。
会 場 東京ビッグサイト (東ホール)
入 場 料 無料 (登録制)
出展規模 705 社・団体 / 1527 小間 (前回実績)
来場者数 167,000 人 (昨年実績)
主 催 (一社)産業環境管理協会、日本経済新聞社
後 援

内閣府、経済産業省、環境省、文部科学省、国土交通省、厚生労働省、消費者庁、(一社)日本経済団体連合会、
(公社)経済同友会、日本商工会議所、東京商工会議所、(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構、日本貿易
振興機構(ジェトロ)、東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県、埼玉県教育委員会、神奈川県教育委員会、千葉県
教育委員会 (順不同、申請予定) ※農水省については正式 OK 後に掲載

来場対象

- ◎企業経営者、企業の購買部門、環境管理部門、製品・商品開発部門、経営戦略部門、社会貢献部門 など
- ◎自治体・官公庁の地域振興部門、購買部門、環境部門 など
- ◎各業界団体、地域産業・商工団体 など
- ◎環境 NPO・NGO、市民グループ、環境に関心のある一般生活者

(2) 当協議会出展の概要

出展タイトル(案) 日本 の 棚田 共同展示コーナー

出展テーマ(案) 「エンジョイ棚田 多彩な楽しみ」

出展期間 2017 年 12 月 7 日(木)～9 日(土)の3日間 10:00～17:00 ※今回は3日とも17時までです。

出展場所 エコプロ 2017 会場内

参 加 参加要件を満たす各地の棚田保全団体（全国棚田(千枚田)連絡協議会に加盟する 16～18 地域(予定)）、
全国棚田(千枚田)連絡協議会、NPO 法人棚田ネットワーク(予定)

共同出展主催/企画 全国棚田(千枚田)連絡協議会

主管（予定） 認定 NPO 法人棚田ネットワーク

協賛/協力 各社・各団体

(3) 2017 年（本年）企画のポイント

■今年の共同出展のテーマは「エンジョイ棚田 多彩な楽しみ」

棚田の様々な機能、棚田とのかかわり方の中から

「楽しむ」をテーマとして、展示・ステージ・イベントをくくります。

[1] 特設ブース……棚田のお酒 テイスティングコーナー（「棚田酒の陣」（仮称））の設置

棚田の楽しみの一つとして、「全国の棚田にまつわる酒」を一堂に集めた特設コーナー「棚田酒の陣」（仮称）を設置。専任スタッフによる試飲とパンフレットの配布を行い、棚田の楽しみの一つとして、「酒」をアピールしていきます。販売も可能です。（このコーナーのみの出展参加（料金体系別途）も可能とします）

[2] 各地域の展示ブース……地域の棚田の「楽しみ」をアピールします

各地域のブースでも、展示テーマに沿って、それぞれの地域の棚田の「楽しみ」を一つの切り口にとりあげます。

（お願い事項）

[3] ステージ……棚田（地域）を楽しむ構成演出

各棚田地域のプレゼンテーションのなかで、「棚田（地域）を楽しむ」をとりあげていただきます。（お願い事項）
また、トークゲストの話題も「棚田（地域）を楽しむ」を組み入れていきます。

[4] クイズラリー

運営方法を改良します。用紙の配布対象を時間帯等で変更し（大人の方重点とする等）、より効果的な運営を行います。

2 出展の要件とブース区分

(1) 応募資格

以下のうち少なくとも一つを満たす団体

- ・全国棚田(千枚田)連絡協議会の団体会員である団体
- ・全国棚田(千枚田)連絡協議会の自治体会員の推薦がある団体
(自治体としての出展ではなく、あくまで地域の保全団体がベースとなります)
- ・代表者が全国棚田(千枚田)連絡協議会の個人正会員である団体

(2) ブース区分の考え方

1つのブースにつき1団体(地域)とします。

3 共同出展企画の内容

(1) 全体の空間構成：展示と共に、合同の体験・アピールのための「棚田ステージ」を設定

※全体イラスト・図面を別途添付

- ・出展団体のブースのほかに、集客を促進する体験企画や・地域のアピールを行うスペース(ミニステージ)を設けます。
- ・ステージは、昨年よりさらに改良し、客席を増やす等、使い勝手を向上させる予定です。

★特設ブースとして、棚田のお酒 テイスティングコーナー（「棚田酒の陣」（仮称））を設置します。

(2) 展示イベント：展示とイベントを連携し集客力を強化

ア 各地の保全団体のブース(棚田ネットワークを含む)

- ・それぞれの保全団体による工夫をこらした展示、各地域の棚田や特産品の紹介(物品販売も可)。ブース前の空間も活用し、自由に構成していただきます。

★棚田を楽しむ企画や体験企画の情報も、展開してください（お願い事項）

- ・各ブースの全体の配置については、展示内容、試食・試飲の有無、地域の位置(地図上での東西南北)等により、主催者が決定させていただきますので、予めご了解をお願い致します。
- ・各ブースに代表的な棚田景観を掲出。統一して制作しますので、データの提供をお願いします。（昨年のものが良好な状態で残っており使用可能な出展者は、参加費が割引になります）
- ・棚田をキーとして物産・名産・食・観光など地域の特徴を前面に出し、交流人口の増加「知ってもらい、来てもらう」を目指す工夫をお願いします。
- ・運営のヒントとして、大学生、県人会など、在京関係者各位の力を合わせてローテーションを組む等が考えられます。

イ 全国棚田(千枚田)連絡協議会のブース

- ・棚田サミットの紹介等、全国棚田(千枚田)連絡協議会の活動を紹介します。
- ・多面的機能をはじめとする「棚田の役割と現状、くらしとの関わり」を訴求します。

★「楽しむ」をキーワードとして、「棚田サミットの楽しみ方」を案内します。

ウ 体験・アピールのための空間「棚田ステージ」

①体験・アピールイベントの実施

- ・時間を区切って、地域ごとまたは合同で各種プログラムを実施し、強力な集客装置として機能させます。
- ・集客の核となる昼～午後の時間帯(ゴールデンタイム)は、基本的に一出展者につき 30 分程度(出入り含む)のイベントタイムとします。3日間でできるだけ全ての出展者が各地の個性と工夫をこらした体験企画やアピールをおこないます。
- ・その他の時間帯は、呼び込み・案内アナウンスによるアピールや棚田映像による訴求など、集客に資する各種イベントを実施します。

②プログラム内容例

★棚田を楽しむ企画や体験企画をお願いします。 ・地域をアピールする企画 ・その他

(地域の特色を全面に出して、ブースへの誘導を図る等、工夫していただきたいと思います。)

・運営のヒントとして、各地域の出身で首都圏に在住する方の応援を得て進行すること等を予定します。

③司会進行/来場促進トーク

・ステージ進行MCのほかアナウンス担当1名を置き、来場促進トークを強化します。

・全体進行は専任のMC(進行役)が担当し、各地の方々と共に掛け合いで進行します。

エ 共同集客企画 「全国棚田(千枚田)クイズラリー」の実施

ブースへの来訪促進効果があり、好評のクイズラリーを、本年も実施します。

★クイズ用紙の配布対象を、時間帯等で変更し(大人の方重点とする等)、運営方法を変更・改良します。

・各ブースに回答のヒントを設定し、来場者の各ブースへの訪問を促進します。

・賞品はこれまで同様、各出展者よりご提供いただきます。

4 広報計画

各種媒体による効果的な広報活動につとめ、昨年以上の集客促進を目指します。

出展者より素材をいただき、ニュースリリースをまとめる等、連携して広報活動を行います。

★特に共同出展テーマである「エンジョイ棚田 多彩な楽しみ」をキーとして、広報活動の拡大を図ります。

・全国棚田(千枚田)連絡協議会 会報誌「ライステラス」およびWEB 広報

・棚田ネットワーク広報誌「棚田に吹く風」およびWEB 広報

- ・その他の各種インターネットツール（フェイスブック等）
- ・各地域の保全団体による広報 ・エコプロ 2017 関連広報 ・その他

5 実施スケジュール概略

出展者募集 7月～

企画検討期間 6月～7月前半

出展最終締切 8月10日予定

実施内容検討・決定 7月～8月

出展制作期間 9月～11月

出 展 日 12月7日（木）、8日（金）、9日（土） ※今回は3日とも17時までです。

交 流 会 12月7日（木）19:00～予定(別途ご案内します)

報告書作成等 平成30年1月～2月

6 企画・運営組織/体制(作業分担)

- ・全体企画は、全国棚田(千枚田)連絡協議会が担当します。
- ・主管（予定）は、本催事(エコプロ展)に過去10回以上の出展経験があり、昨年も本催事を担当したNPO法人棚田ネットワークに委託します。
- ・企画段階～当日運営に際しては、以下三者が緊密に連携して進行します。
 - 全国棚田(千枚田)連絡協議会(エコプロダクツ2017出展担当者) ○出展者(各地の保全団体ほか)
 - 認定NPO法人棚田ネットワーク(事務局 エコプロダクツ2017出展担当者)

7 参加費(エコフロ出展料変更のため、改定となっています(今後調整の場合があります))

[ブース参加]

■1 ブース 66,000 円

※昨年の出展者で同じ幟（タペストリー）を使用する場合は 56,000 円。広めのブース希望団体は別途

（長テーブル 1 [白布付]、パイプ椅子 2、照明 1、電源コンセント 1、共同流し利用料、棚田景観ビジュアル 1 を含み、それ以外は別途料金となります。）

[「棚田のお酒テイastingコーナー」への参加]

■1 出展者（お酒は 2 種まで）12,000 円（ブース出展される方は 4,000 円）

○お酒（1 種につき 4 号瓶 12 本（余った場合はお返しします））と、パンフレットは出展者をご提供ください。

★ブース専任スタッフ 1 名、テイastingツール（共通のミニプラカップ）付

★ブースにディスプレイし、希望により試飲していただき、パンフレットをお持ち帰りいただきます。

（その場での販売は検討中です。またパンフレットからもオーダーができるようご配慮ください）

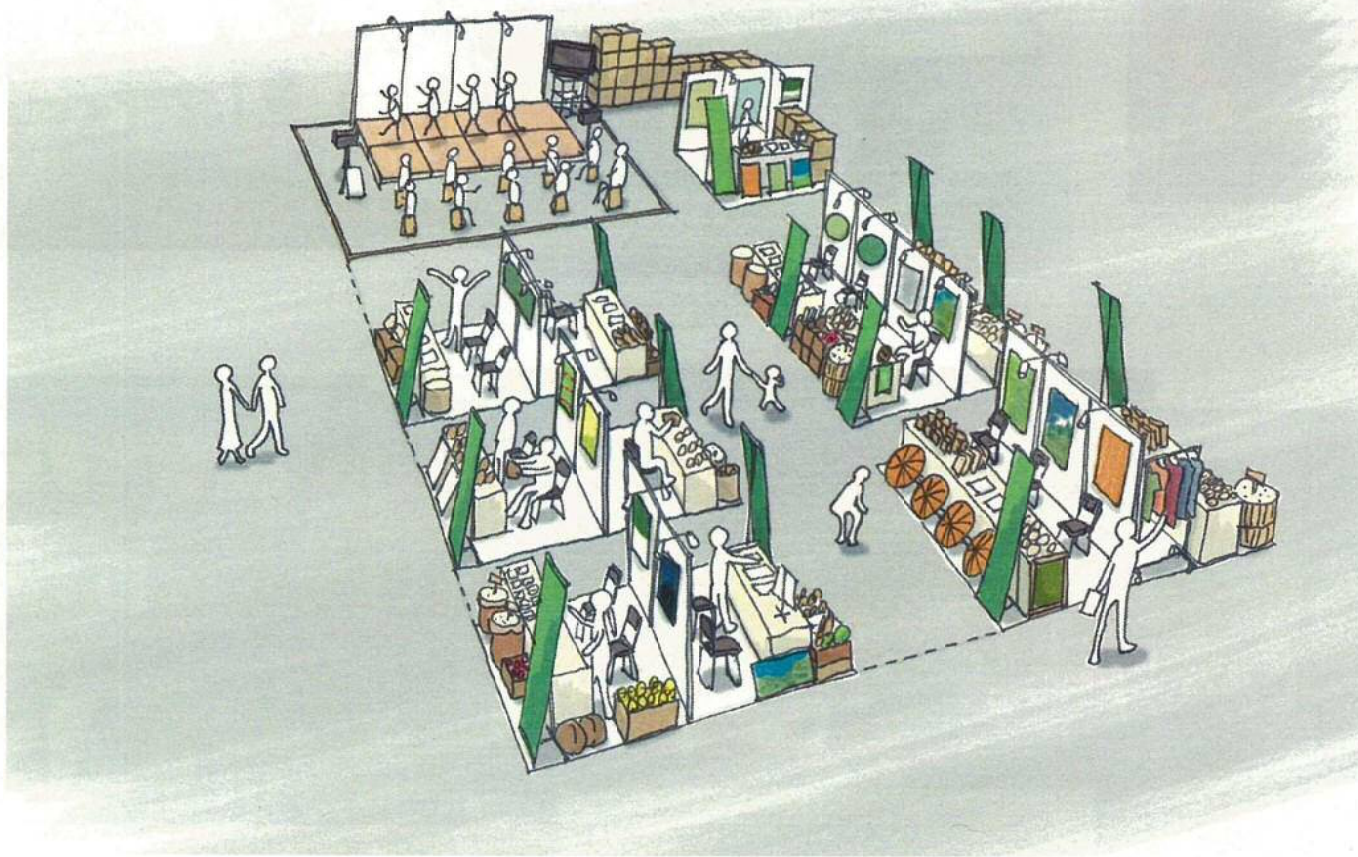
8 実施予算概算(案)企画により変動します。

収 入		支 出	
出 展 者 分 担 金	8 7 万 円	全 体 企 画 関 係 費 (全 体 企 画 、 図 面 、 ス テ ー ジ 構 成)	1 5 万 円
全 国 棚 田 (千 枚 田) 連 絡 協 議 会 事 業 費	5 0 万 円	各 出 展 ブ ー ス 関 係 費 (出 展 ス ペ ー ス 、 電 源 、 照 明 、 共 用 流 し 等)	6 4 万 円
協 賛 金	2 0 万 円	共 用 造 作 関 係 費 (ス テ ー ジ 、 幟 旗 、 協 賛 パ ネ ル 等)	6 万 円
		運 搬 交 通 費	4 万 円
		人 件 費 (フ ロ ア 進 行 、 ス テ ー ジ ス タ ッ プ 、 催 事 司 会 者 等)	4 2 万 円
		ス テ ー ジ 設 備 費 (大 画 面 モ ニ タ ー 、 音 響 等)	3 万 円
		個 別 企 画 関 係 費 (ク イ ズ ラ リ ー 、 体 験 企 画 等)	3 万 円
		広 報 関 係 費	5 万 円
		事 務 局 関 係 費	1 5 万 円
計	1 5 7 万 円	計	157 万円

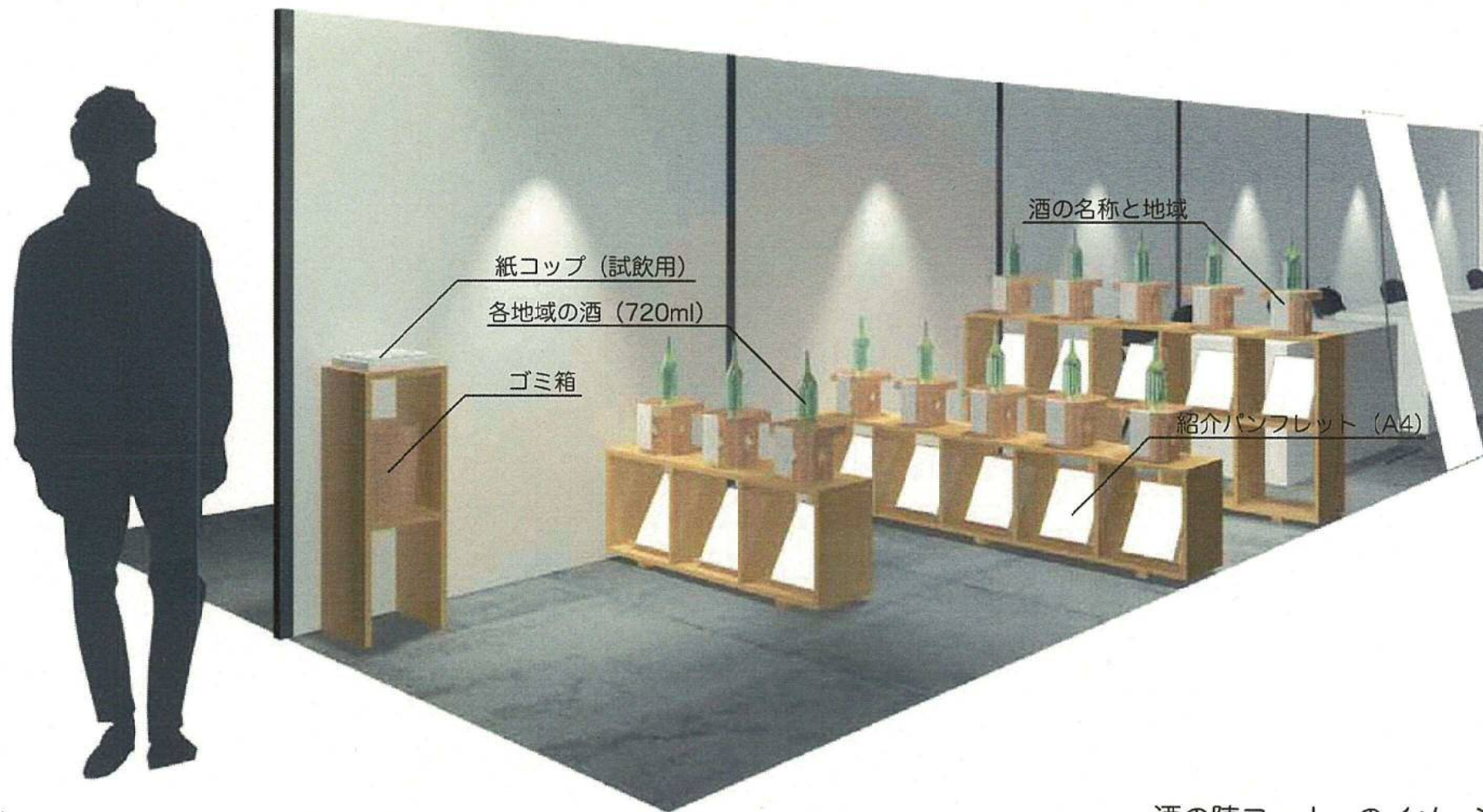
以上、貴地域・団体の棚田並びに保全活動、特産品PRの場として、是非ご出展ください。

【日本の棚田共同展示コーナー(イメージ)】

※例です







酒の陣コーナーのイメージ